

**答** 地域防犯体制マニュアルづくりは、全国防犯協会連合会が作成した地域安全ガイドブックを押し進め、総社市に合ったマニュアルづくりをしていく。自主防犯組織のない地域の組織づくりも、まちづくり支援室でお手伝い、支援をしていきたい。通学路の安全対策は、地域のボランティア、PTAなどが協力し登下校の見守る体制ができています。

また、教育委員会もビデオカメラの設置も本年度試行してみたいと考えている。  
(竹内市長・柴田教育長)

このほかに、保健福祉についても質問しています。

## 大熊 公平

なぜごみ袋有料化なのか

**問** 有料化は、公平なごみ処理費用の負担とコスト意識の変革、ごみ・環境問題への関心の高まりなど、単にごみの減量化にとどまらず大きな意味を持つが、不法投棄・焼却など住民ト

ラブルや数年後のリバウンドも想定される。成功の鍵は市民との合意形成にあるが、説明会と広報誌の啓発で十分なのか。また、ごみ袋の手数料収入の使い道についてどのように考えているのか。

**答** 12月広報誌で有料化の意義と、ケーブルテレビでの周知徹底と市内27ヶ所での説明会で、ごみの有料化や具体的にごみの出し方など全力を尽くし説明申し上げているし、町内会単位でも要請があれば出向き説明していく。ごみ袋の手数料の使い道は、平成18年度で純利益が約2、900万円、ソフト事業として地域通貨エコマネー的なものと連動し、協力いただいた方々に何らかの還元ができるように、特定財源で考えていきたい。(竹内市長)

循環型社会への道について

**問** 有料化は循環型社会への重要な施策だが、進め方次第だ。他市において「ごみ減量化計画」など

年次行動計画を立て、市民との協働や住民運動として減量化に取り組んでいるが、その考えはないか。大量生産・大量消費・大量廃棄による経済成長から美しい環境の中で、本当に心豊かに生活ができる地域を作っていくことが市の将来にとって必要なものかどうか。

**答** 資源循環型社会を形成することを目標としたごみ処理基本計画を策定しているが、これを踏まえ本市の年次計画を見直し30%以上の削減ができるよう努めていく。また、来年度中に市内のコンビニ店を対象に総社市環境にやさしい店の登録制度を設け、包装のなかり売りの店、マイバック運動推進店、リサイクルを取り組んでいる店などを検証する制度を設け、環境への意義の高揚を図っていきたい。(竹内市長)



ごみ袋有料化に向けての地区説明会

## 津神 謙太郎

雪舟誕生地の整備について

**問** 雪舟誕生地公園の整備予定地として、平成9年赤浜地区に土地が取得され、地元からも早く整備してほしいとの要望がなされ

て来た。市長は、新市の主要事業の一つとして位置づけ、早くできるよう努力すると言われたが、財政が厳しい中、郷土の誇れる雪舟の誕生地公園整備の時期はいつごろか。

**答** 厳しい財政状況の中、山積する事業の執行に備えて例年以上に事業の緊縮に努め、新規の事業採択も抑え、また継続的な事業も思い切った事業の削減を図る情勢となっている。すぐに事業着手できる状況ではないが、市としては重要な事業と考えているので、早く着工できるように努めていく。ソフト事業を中心に没後500年を顕彰し、画聖雪舟の生まれた町として総社市をアピールしていきたい。  
(竹内市長)

通学路の安全対策について

**問** こともたちが安心して、また安全に通学ができる遊べる環境を作っていくことが私たち大人の使命だし、地域全体で安全対策を考えていく必要がある。そこで、